

**2014年度 第69回国民体育大会セーリング競技会北海道予選会
スナイプ級強化レース**

帆走指示書（ヨット）

1. 適用規則

本大会は、2013-2016「セーリング競技規則」（以下RRSと称す）に定義された規則

（帆走指示書により変更された規則を除く）

付則Pならびに当該クラス規則を適用する。

但しSCIRA規定の「公認レガッタの運営規定」は適用しない。

RRS 87に基づき、470クラス規則の規則E4.3(b)を次の様に変更する。国際470級学連仕様艇については「ラダー・ブレードの厚みは、最小20mm最大24mmの均一な厚さでなければならない」を削除する。

2. 参加申込

参加資格のある艇は、主催団体に登録を完了すると共に、レース公示に基づきレース委員会の確認を得るものとする。

3. 競技者への通告

競技者に対する通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書に変更がある場合には、それが発効する当日の最初の予告信号の90分前までに掲示する。

但しレース日程の変更はそれが発行する前日の18時までに掲示される。

5. 陸上で発する信号

(1) 陸上で発する信号は、陸上本部の信号柱に掲げられる。

(2) AP旗が、警笛長音2声と共に掲げられたときは（降下の時は、警笛長音1声）、「すべてのレースは延期された。予告信号はAP旗の降下後30分以後に発せられる」ことを意味する。AP旗とクラス旗が共に掲げられたときは、「当該クラスのレースは延期された。予告信号はAP旗の降下後30分以後に発せられる」ことを意味する。

6. レース日程及クラス旗

(1) 当日の最初のレース予定予告信号の時刻及びクラス旗は次のとおりとする

ク ラ ス	7月20日	7月21日	クラス旗
470級	10:25	9:25	470旗
国体シングルハンダー級 成年女子、少年男女SH SR級	10:30	9:30	SH旗 SH-SR旗
スナイプ級 SS級	10:35	9:35	スナイプ旗

(2) 原則として各クラスは5分間隔でスタートを行う。各日とも、最初のレースに引き続き次のレースを実施する。引き続きレースを実施する場合、最初にスタートするクラスの予告信号を発する5分以前に音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。掲揚されたオレンジ旗は引き続きスタートした全てのクラスのレース終了後に降下する。

(3) 引き続き行われる各クラスのレースのスタート順は上記の順番に依らないことがある

(4) 最初のクラスの予告信号は20日、15:31、21日、13:01を超えて発しない。

但しゼネラルリコールの場合はその限りではない。

(5) 本大会の最大レース数は6レースとし、1日に行う最大レース数は4レースとする。

7. 大会の成立

本大会は1レースの完了で、成立する

8. 推進方法

成年男子470級については国際470級クラス規則C1.1(a)を適用する。

9. コース

- (1) 図1に回航すべきマークの順序及び各マークの通過すべき側を示すコースを示す。
- (2) 第1マークへのおおよそのコンパス方位は、予告信号以前にレース委員会信号艇(以下本部船)から示す。

10. マーク

マーク1,2,3は数字で1,2,3と表示されたオレンジ色の三角錐ブイとする。
但しマーク1の打ち換えマークは黄色の円筒形のブイとする

11. スタート

- (1) レースのスタートはRRS26に基づき行う。
- (2) スタート・ラインはオレンジ色旗を掲げた本部船のポールとポート側のブイの間とする。
- (3) 予告信号がまだ発せられていないクラスの艇は、スターティング・エリアから離れ、すでに予告信号が発せられている全ての艇を避けなければならない。
- (4) スタート信号の4分以降にスタートする艇はDNSと記録される。これはRRS A 4.1を変更している。

12. コースの次のレグの変更

次のレグのコースの変更についてはRRS33によるが、プラス旗及びマイナス旗については、表示しない。これはRRS33を変更している。

13. コースの短縮

コースの短縮またはレースの中止は、RRS32による。コース短縮の場合レース委員会艇にS旗を掲げ警笛長音2声を発する。

14. フィニッシュ

フィニッシュラインは、レース委員会艇の青色旗を掲げたポールと、アウター側ブイの間とする。
但しコース短縮の場合は当該回航マークと、スターボード側のレース委員会艇のS旗を掲げるポールとの間をフィニッシュするものとする。
レースが終了した時は、号砲1声を発する。

15. タイム・リミット

タイム・リミットは、RRS28.1に基づき、かつRRS30.3に違反しないでスタートした当該クラス先頭艇フィニッシュ後15分とする。

16. 抗議と救済の要求

- (1) 抗議および救済の要求は、陸上本部で入手できる用紙に記入し当日の当該クラス最終艇のフィニッシュ後60分以内にプロテスト委員会に提出しなければならない。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時間を延長することができる。
- (2) 抗議に関する報告は、審問の時刻及び場所、抗議の当事者または証人として指名されたものを競技者に知らせるために、抗議締切り時間後早急に掲示される。
- (3) 付則Pに基づき、RRS 42違反を認められたか、またはプロテスト委員会により失格とされた艇の一覧は、抗議締切時刻までに公式掲示板に掲示される。

17. 得点

- (1) 各クラスともRRS付則Aの「低得点」方式を適用する。
各艇の総得点は、5レース以上実施された場合は1レースカット、
5レース実施できなかった場合は実施された全レースの得点合計とする。
これはRRS付則A2を変更している。
- (2) 参加艇数とは、当該種目に参加申込みが認められた艇の数とする。
- (3) SH-SRクラスの国体参加クラス(成年女子・少年男子・少年女子)の得点は種目で区別せず同一のレース得点として計算する。

18. 申告

- (1) レースに出走しようとする艇は、当該クラスのスタート予告時刻の90分前から陸上本部に出走申告をした後でなければ出艇してはならない。
- (2) 帰着申告は、レース終了後60分以内を締切り期限とするが、原則として帰着後速やかにしなけ

ればならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。

(3) 参加登録して当日のレースに出走しない艇は陸上本部にDNC申告しなければならない。

(4) リタイアしようとする艇、および引き続きレース行われるレースに出走しない艇は速やかにレース海面を離れ近くのレースコミッティボートにその旨伝えなければならない。艇長は帰着後陸上本部にリタイア申告書またはDNC申告をしなければならない。

(5) 引き続き行われたレースで指示書 18. (1) に違反した場合は当日の最初のレース、指示書 18. (2) に違反した場合は当日の最後のレースを審問無しで失格とする。得点記録の略語はTPTと記録する。これはRRS63.1 付則A4およびA5を変更している。

19. ライフジャケット

乗員は、離岸から着岸までの間、ライフジャケットを着用しなければならない。ウェットスーツ及びドライスーツは、救命具とはみなされない。ただし、衣服の着脱にたずさわる短時間の場合は、これを除く。

これはRRS第4章前文及びRRS40を変更している

20. 艇体・セールに関する特別許可

各クラスとも、クラス規則の艇体番号並びにセール番号の同一性に関する条項は適用しない。

21. 無線通信

艇は、レース中無線通信を行ってはならず、またすべての艇が利用できない無線通信を受信してはならない。この制限は、携帯電話にも適用する。

22. ゴミの処理

ゴミについては、海中へ投棄しないこと。

23. 賞レース公示による

24. 免責

本大会の競技者はRRS4に基づき自己責任で参加する。主催団体は大会前後または大会期間中に生じた損害、負傷等のいかなる責任も負わない。

添付 レース海面図